

## 「同窓会・工学部共同企画の工場見学会」報告書

- |          |                                |
|----------|--------------------------------|
| 1. 実施日時： | 平成 24 年 2 月 15 日（水） 午後 1 時～5 時 |
| 2. 見学場所： | ㈱ダイヘン六甲事業所                     |
| 3. OB 講演 | 笠上文男 ダイヘンテック㈱取締役社長(機械 50 年卒)   |
| 4. 参加者：  | 34 名（学生 29 名，引率教員等 5 名）        |

昨年に引き続いて、学生の皆さんに工学に対する興味を深め学識を広げて頂くため、同窓会・工学部共同事業として実際のものづくりの現場である工場の見学会を上記日程にて実施しました。工学部の熱心な告知もあって三十数名の申し込みがあり、当日は 4 学科 29 名の学生の参加を得ました。



写真1 見学会参加者・工場玄関にて

### 同窓会・工学部共同企画の工場見学会参加ショートレポート

見学会当日は肌寒い天候であったにもかかわらず、試験が終了した直後の日程とあって集合時刻には工学部階段教室前にあらかたの集合し、簡単な日程説明の後本館正門近くの大型バスにさっそく乗り込み、阪神高速道路湾岸線を通り大阪湾の開発された光景を見ながら六甲アイランドに向かった。

㈱ダイヘンは変圧器・ロボット・溶接機器等に独自の技術を有し、この分野ではトップクラスのシェアを有する有力企業であり、海外での売り上げが 7・8 割にも達している。また本学の卒業生も多数在籍する。本日の見学先六甲事業所は、社会の多様なニーズに応える様々の溶接機・ロボット・その周辺機器を企画から開発・生産・販売まで行う、設立 5 年目の新鋭工場である。

工場に着くと会議室に入り、工学部代表の岡教授より㈱ダイヘンへの謝意、学生への見学会に対する心構え、ロボットに対する若干の説明など、挨拶を行う。



写真2 岡教授 挨拶

続いて、会社側より会社概要や六甲事業所の説明を受け、2班に分かれて工場見学に移った。

溶接機の操作を研修するコーナー、展示会から帰ってきたばかりの最新鋭機他が置かれているショールーム・溶接機製造工場・パーツ製造工場・ロボット製造工場・品質検査工程・部品倉庫・製品倉庫と4棟の工場を順次見学させてもらった。

工場というベルトコンベア方式の生産ラインをイメージすることも多いが、本工場では多品種を多数連続して生産する方式である。

品質検査工場では、当工場で生産された製品だけではなく海外の生産拠点で生産された製品も取り扱うとのことであった。

見学から戻り、工場見学に関しての若干の質疑応答の後、講演会に移った。

(株)ダイヘンのメカトロニクス関連商品を生産する系列会社ダイヘンテック(株)取締役社長である笠上文男氏にご講演をいただいた。

講演は「ロボット開発の経験と想い」と題したもので、笠上氏が(株)ダイヘン時代に技術開発のトップとして活躍し、取り組まれたロボット開発についての熱い思いをお話しされた。

ロボット産業の歴史に始まり、ロボット業界の現状・各種産業ロボットの紹介、新規ロボットへのチャレンジ・開発時の苦労話・経験他、OBならではの学生諸君に熱き想いを伝える内容であった。

講演後の質疑応答も時間不足で打ち切りとせざるを得なかった熱心さで行われた。

講演会後の会費制の交流会。講演者に加えて H21・情報工学科卒の小林氏にも加わって頂く。一層具体的な質問が続き、OBからは檄が飛ぶ。学生生活を如何に送るか、社会に出る心構え他、得ることは大きかった模様である！



図1 六甲事業所の説明図



写真3 熱き想いを語る笠上社長



写真4・1 講演者を囲んで成人学生組



写真4・2 OBと未成年学生組

## 参加者感想

参加者に感想をお聞きしました。一部を掲載します。

- ・ 見学会、懇親会に参加させていただいてありがとうございます。初めて工場というものを見学しました。イメージとは違って、製品がコンベアの上で機械で作られているというよりも、手作業で時間をかけて作っているということを知りました。また製品の品質管理にとっても気を配っていて（海外で作られた製品の品質保証検査や温度と湿度を調整できる環境調整室など）、なんでそこまでやるの？というのを感じました。懇親会ではOBの方々が世代の違いや仕事の現場を楽しく話されていて、とても親身に感じました。特に人とのつながり、やる気の大切さが印象に残っています。先輩方の生の声を聞ける場というのは本当に光栄で貴重なことだなあと感謝しています。ですが聞くだけではなく、自分からも話せたらなあと思いました。次回もあれば参加したいです。ありがとうございました。

(機械工学科 1 回生)

- ・ このような催し物を企画していただきありがとうございました。  
化学系の企業には何度か見学に行ったことがあるのですが、ロボットを作る企業に行ったのは今回が初めてでした。多くの人々の手により、ロボットが検査されて、安全性が確立されていることに感心しました。また、今回の見学を通して、さまざまな企業を見学し視野を大きくすることが大切だと感じました。

こうした企業を見学する機会があれば、また是非参加したいです。

(化学バイオ工学科 3 年)

## 終わりに

今回の見学会非常に有意義なものになったと感じています。その源泉は

- ・ 工学部の熱心な学生への告知
- ・ 榊ダイヘン殿の理解ある受け入れ体勢
- ・ 受け入れ企業に在籍する OB の強力な協力
- ・ 技術功績のある OB の講演
- ・ 交流会の実施による距離感の無い OB と学生の接触

他と感じています。最後になりましたが榊ダイヘン殿に多大の謝意をお伝えいたします。

**尚会員メンバーで見学会を受け入れていただける企業有りましたら、ご連絡をお願いします！**